

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①類型・コース制の特色を生かした教育課程に、生徒の80%以上が満足している。	①類型・選択科目の内容を生徒に十分説明し、生徒のニーズを達成する類型・科目選択ができるようにする。					
		②チャレンジタイムⅠ・Ⅱ・Ⅲの内容に、生徒の80%以上が満足している。	②チャレンジタイムのそれぞれの目標を示して、生徒一人一人が積極的に活動できるように、内容を工夫する。					
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「授業が分かりやすい」と、生徒の80%以上が答えている。	①研究授業・授業研究・授業アンケートを、計画的・効果的に実施する。					
		②授業中に、「活動しながら学習したり、学習したことをもとにして考えることがある」と生徒の60%以上が答えている。	②生徒の興味関心を念頭におきながら、ペア学習やグループ学習を取り入れ、主体的で深い学びになるよう工夫する。					
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	①「基礎科目」によって基礎・基本の知識が身についたと感じている生徒が80%以上である。	①教科内で「基礎科目」の内容や授業形態について十分検討し、統一歩調で指導する。					
		②進路目標に応じた学力を身にけたと自己評価している生徒が80%以上である。	②到達目標を明確にし、授業と補習をつながりを持たせ、学習の習慣化を図る。					
		③資格取得に向けた指導に、生徒の80%以上が満足している。	③個々のレベルに応じて目標を設定し、より高い級の検定に挑戦できるよう学習させる。					
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①規律が保たれ、学校が安全だと感じる生徒が80%以上である。	①学校全体で生徒の情報が共有できる体制を整え、モラル向上の行事を計画的に実施する。					
		②基本的な生活習慣を身に付け、服装頭髪などみだしなみがしっかりしている生徒が80%以上である。	②服装頭髪指導の年間計画を立てて、分掌や学年と連携協力して実施する。					
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	①「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	①いじめに関するアンケート年間5回、それに伴うフォローアップを年間5回実施する。					
		②随時の情報共有に加え、「生徒情報」を月1回まとめ、職員相互で情報共有し、職員が生徒についての必要な情報を100%理解している。	②定期的にいじめ防止対策委員会・ケース会議を開き、組織的な対応をする。					
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①欠席率が5%以下及び遅刻率が3%以下である。	①保護者の協力を得ながら、段階的指導を行う。					
		②交通マナーやルールを遵守して、自分の身は自分で守るという意識を常に持っている生徒が80%以上である。	②交通安全教室、HR等でルールを遵守させ、登下校指導を定期的に行う。					
		③部活動の加入率が60%以上である。	③学校全体で実態を把握し、活動しやすい環境を整備する。					
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	①「ドリカムプラン」に満足している生徒が80%以上である。	①計画に沿って実行し、事後の反省を生かして改善する。					
		②生徒の将来の志望について理解している保護者が、70%以上である。	②保護者との関係を密にし、三者面談等で個々の進路に関する情報を提供する。					
8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①自分の適性を理解している生徒が、60%以上である。	①適性検査や体験学習、面談等で自己理解を深める。					
		②進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が70%以上である。	②個々の目標とそれに応じた具体的な対策を示し、自ら学ぶ意欲を高める。					
		③第1希望の進路を実現できた生徒が95%以上である。	③入社試験や入学試験に合格するために面接練習や模試を計画的に設定する。					
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①PTA総会、公開授業、学年保護者会等に参加している保護者が、のべ50%以上である。	①多くの保護者が参加できるような内容に設定し、情報を発信して参加を促す。					
		②本校情報誌「板倉高校かわら版」を年2回以上発行している。	②「かわら版」やそれ以外の情報を広く発信する。					
		③学校のwebページを月2回以上更新する。保護者メールも活用し、随時情報を発信する。	③学校行事やチャレンジタイム等の情報を発信し、教育活動を広く理解してもらえるように努める。					
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	①80%以上の教員が、教科等の指導場面においてICTを活用し、個別最適な学び、協働的な学びを追究した授業を実践する。	①教科等の指導場面においてクローズド・ブック等を積極的に活用し、学力・学習意欲面で多様な生徒に応じた授業展開を行う。					
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	①校務分掌・学年等においてICTを活用した業務改善を進め、校務分掌・学年等が実施する諸調査等の60%以上をペーパーレスで実施する。	①校務分掌・学年等が実施する諸調査等をグーグル・フォーム等を活用して実施し、分析結果を適切にフィードバックし、その後の業務改善に活かす。				